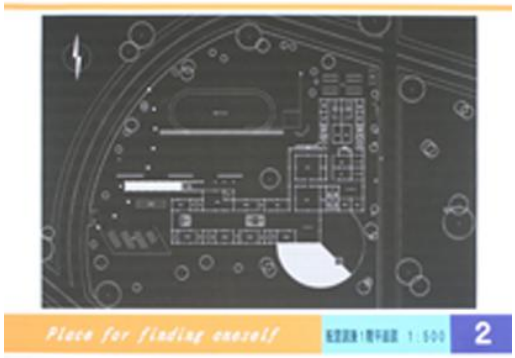
銀賞　尾形　友也君

北海道札幌工業高等学校建築科　　Place　for　finding　oneself

生徒にとって生活の場といえるほど長い時間をすごす学校。自らを発見する場としての学校を考え、空間にゆとりを与え、しつらえにも配慮したことが特色となっている。単調になりがちな学校のデザインに、２階エントランスまでのアプローチ部を楽しくするための壁を設けるなどの工夫も見られる。また、ただ広さを確保するのではなく、校舎の配置をＬ型としたり、時計塔を設けるなど、学校生活に多様性を確保する工夫をしており、思いの詰まった作品であることが評価された。

（文責：齊藤　文彦）